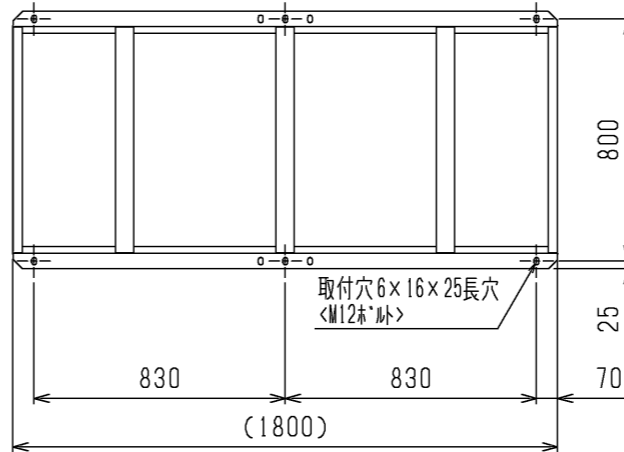


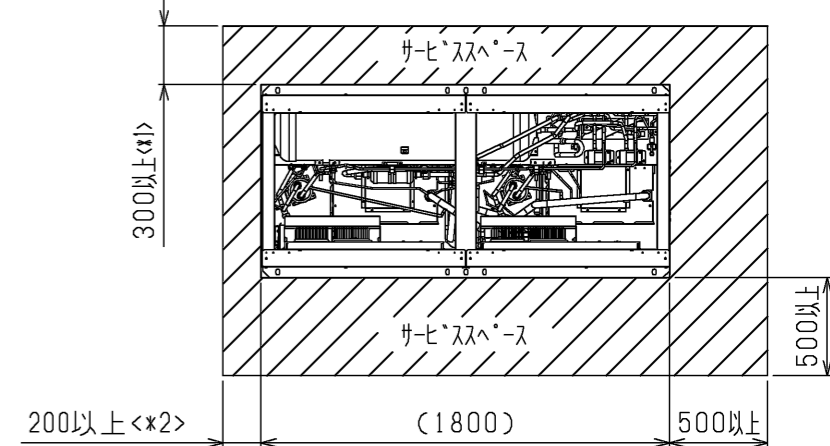
1.据付ピッチ

振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



2.サビスペース

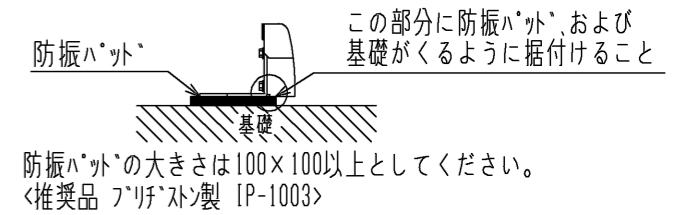
本製品のサビスペースには下図の寸法が必要となります。



- ※1.製品の背面側にもサビスペースを設けてください。
- ※2.左側面に配線取出し分のスペースが必要となります。

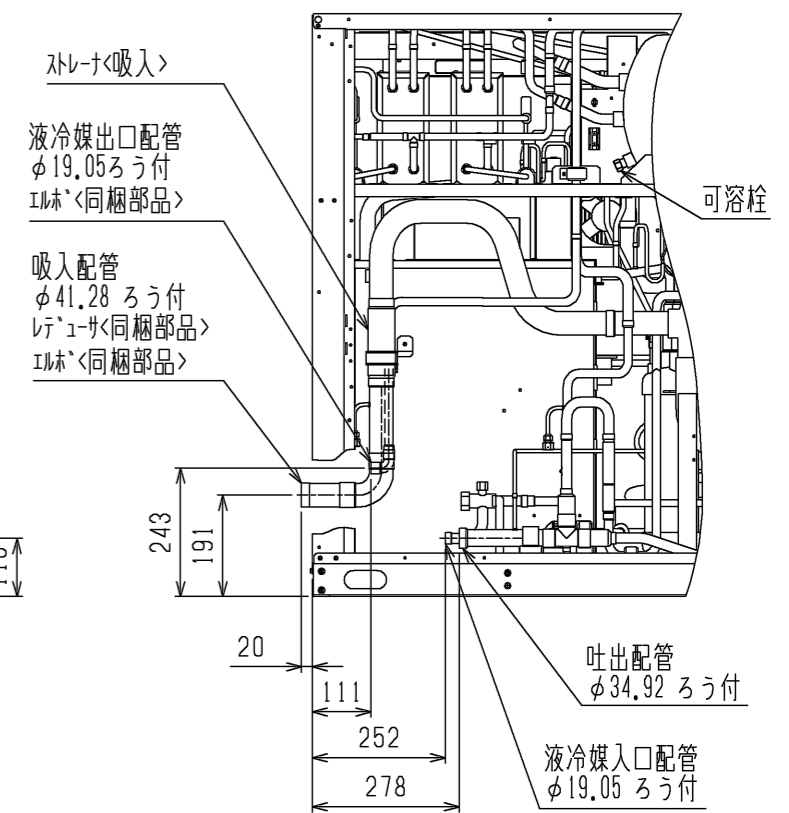
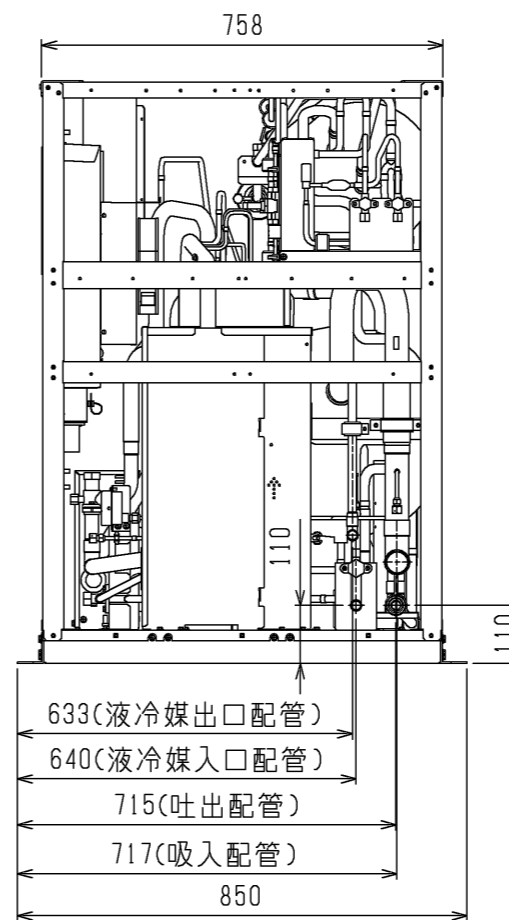
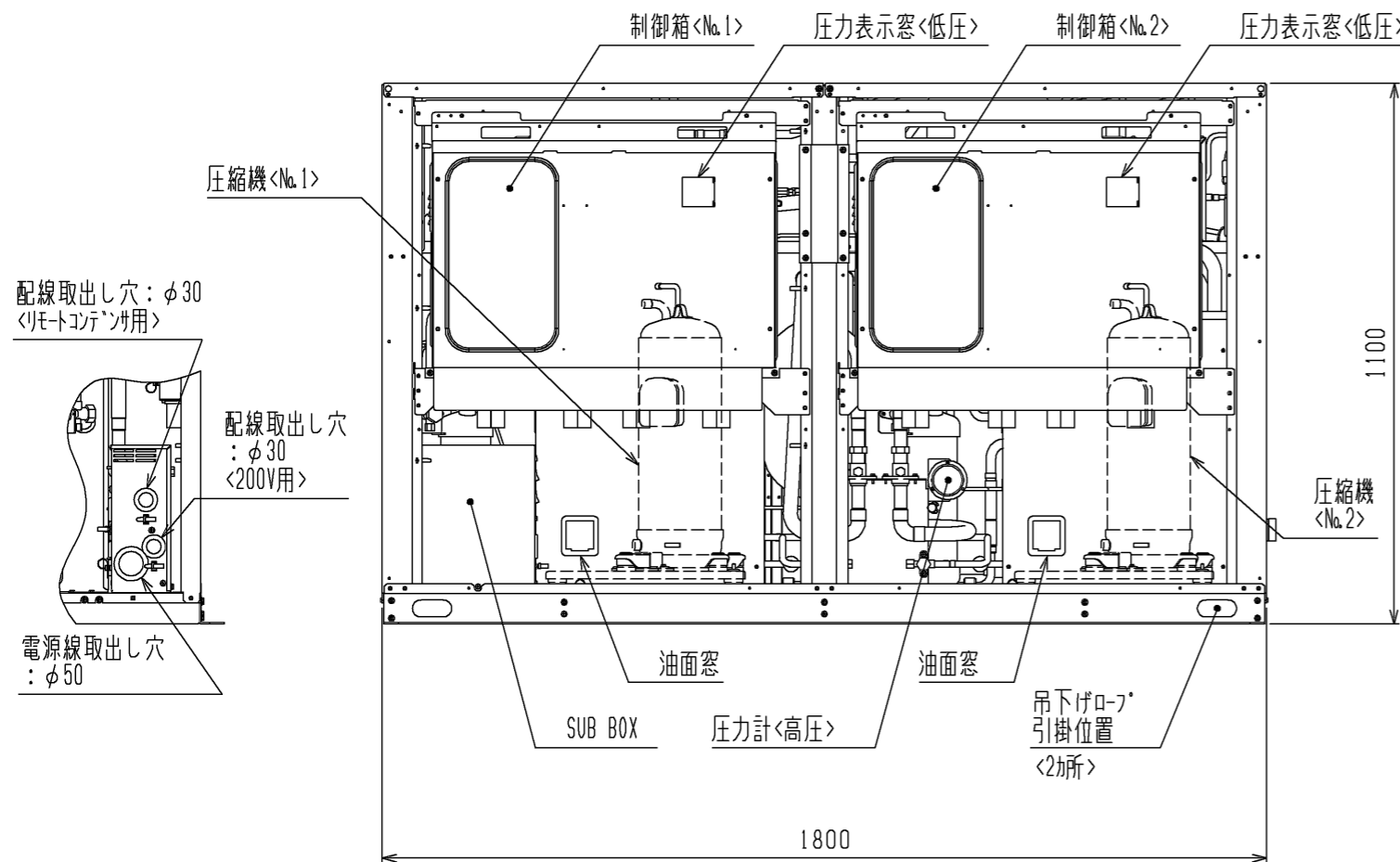
3.据付ボルト

M12の据付ボルトでユニット据付足を6箇所強固に固定してください。
<据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。>



下方向配管取出し穴

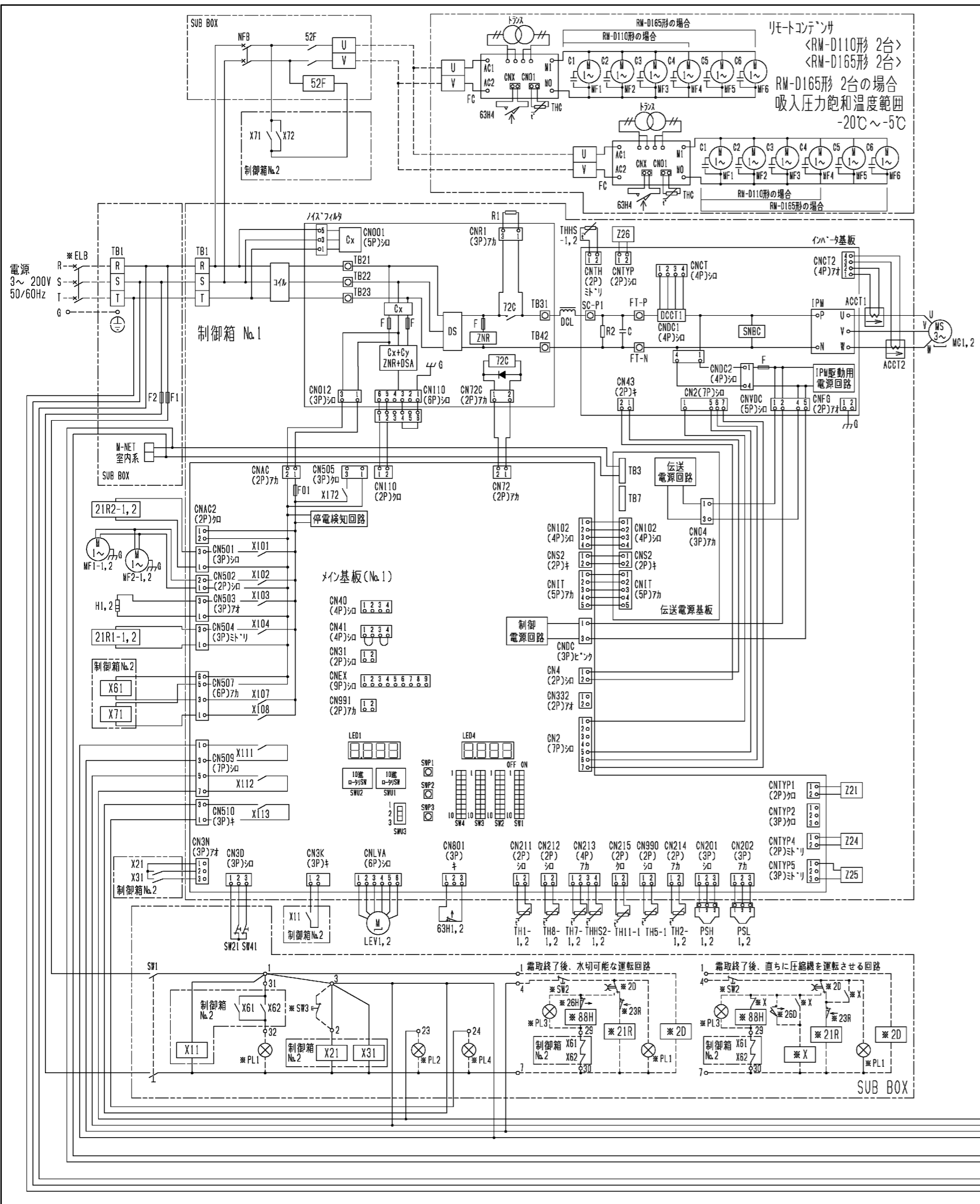
(下方向取出しを実施する場合は、接続部品(エルブ・ソケット)を現地手配していただく必要があります。
接続部品の配管径は本図の接続径に合わせてください。)



注.製品の仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS 尺度 SCALE DO NOT SCALE	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE	
	2021-11-30		リモート式インバータスクロール形マルチ 圧縮ユニット外形図 ECV-D185A	
	三菱電機株式会社		DWG.NO. W KN94CORP	REV. *
				PAGE 1/1



- 注1. ※印の機器は、現地手配となります。
 2. ---線は、現地配線となります。また回路はホッパタ回路方式の場合を示します。
 3. 端子23-7, 4-7の間に回路を接続する場合は、0.45Aを超えないようにしてください。
 4. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
 5. SW2, SW3, PL1~3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
 SW3はモータ駆動の押しボタンスイッチ限定です。(モータ駆動スイッチ: ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ)
 SW3を取付ける場合は、2~3間の配線は必ず取外してください。
 6. SW3を取付ける場合は、2~3間の配線は必ず取外してください。
 7. X61, X62のb接点は、コンタクトユニットと電熱器(露取)の同時通電を防止するための回路です。
 複数個のケースを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
 8. PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
 SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯を点灯させることができます。
 9. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照します。

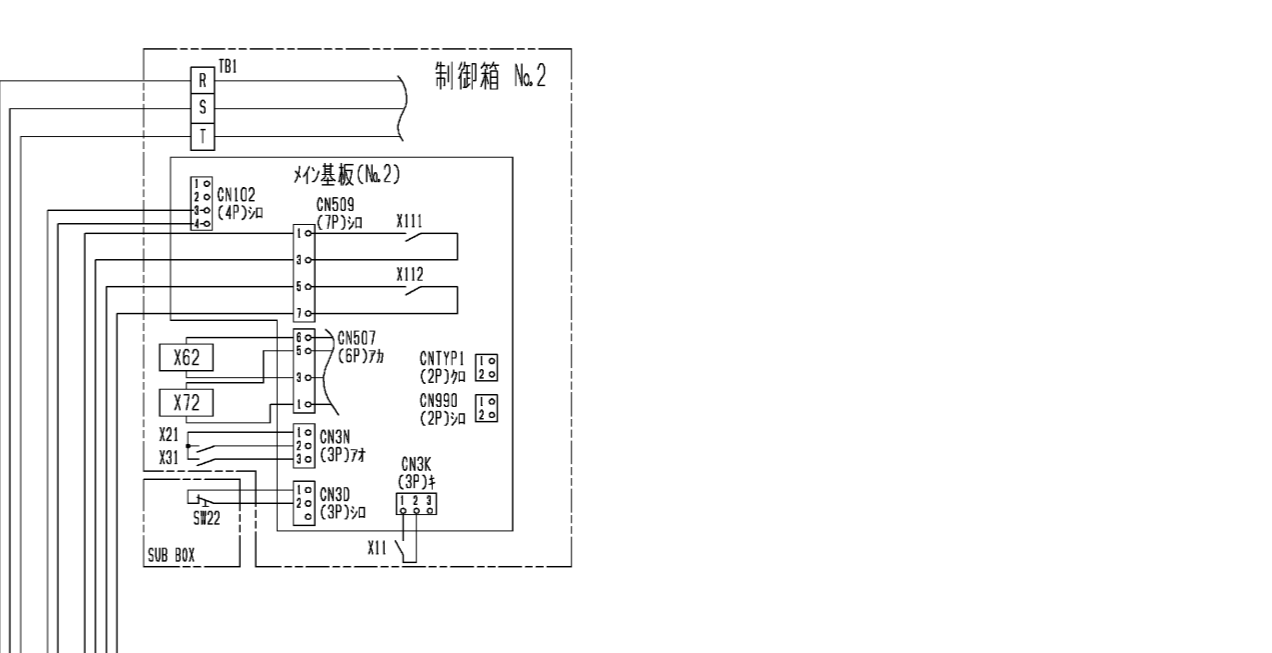
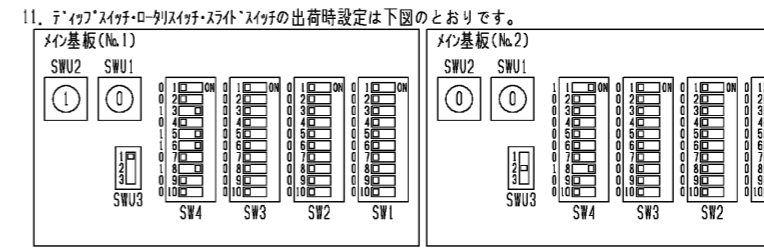
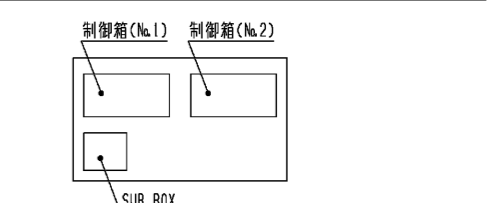
記号説明: 圧縮ユニット

記号	名称	記号	名称	記号	名称
ACCT1	電流センサ	MC1, 2	圧縮機用電動機	THS2-1, 2	チミスタNo.1, 2(室内-放熱板温度)
ACCT2	電流センサ	MF1-1, 2	送風機用電動機<No.1, 2>	TH1-1, 2	チミスタNo.1, 2(吐出管温度)
C	コネクタ(電解)	MF2-1, 2	送風機用電動機<No.1, 2>	TH2-1, 2	チミスタNo.1, 2(圧縮機オイル温度)
DCL	直流リリヤル	NFB	フレキエトコパ(約:30A)	TH5-1	チミスタ(凝縮温度)
DCCT1	電流センサ(直流電流)	PSH1, 2	圧力センサ<No.1, 2(高圧)>	TH7-1, 2	チミスタNo.1, 2(吸入管温度)
DS	タイマスタック	PSL1, 2	圧力センサ<No.1, 2(低圧)>	TH8-1, 2	チミスタNo.1, 2(液管温度)
F1	ヒューズ(制御回路:5A)	R1	抵抗(突入電流防止)	TH11-1	チミスタ(制御パネル-入口温度)
F2	ヒューズ(制御回路:5A)	SW1	スイッチ(運転-停止)	X11	補助電圧
G	接地(アース)	SW21	スイッチ<No.1(個別運転)>	X21	補助電圧
H1, 2	電熱器<No.1, 2(2W)>	SW22	スイッチ<No.2(個別運転)>	X31	補助電圧
IPM	インバータ(モータ駆動用)	SW41	スイッチ(通常-固定)	X61, X62	補助電圧
LEV1, 2	電子膨張弁<No.1, 2(2イン)>	THS1-1, 2	チミスタNo.1, 2(室内-放熱板温度)	X11, X12	補助電圧
※ELB	漏電遮断器	※PL4	表示灯<フレーム-7>	※2D	タイマスイッチ(露取)
※EL1	表示灯<運転-スト>	※SW2	スイッチ(運転-停止:ホッパタ)	※21R	電磁弁<液>
※PL2	表示灯<異常-7>	※SW3	スイッチ(異常リセット)	※23R	温度調節器<庫内>
※PL3	表示灯<露取-ホッパ>	※X	補助電圧	※26D	温度調節器<露取終了>

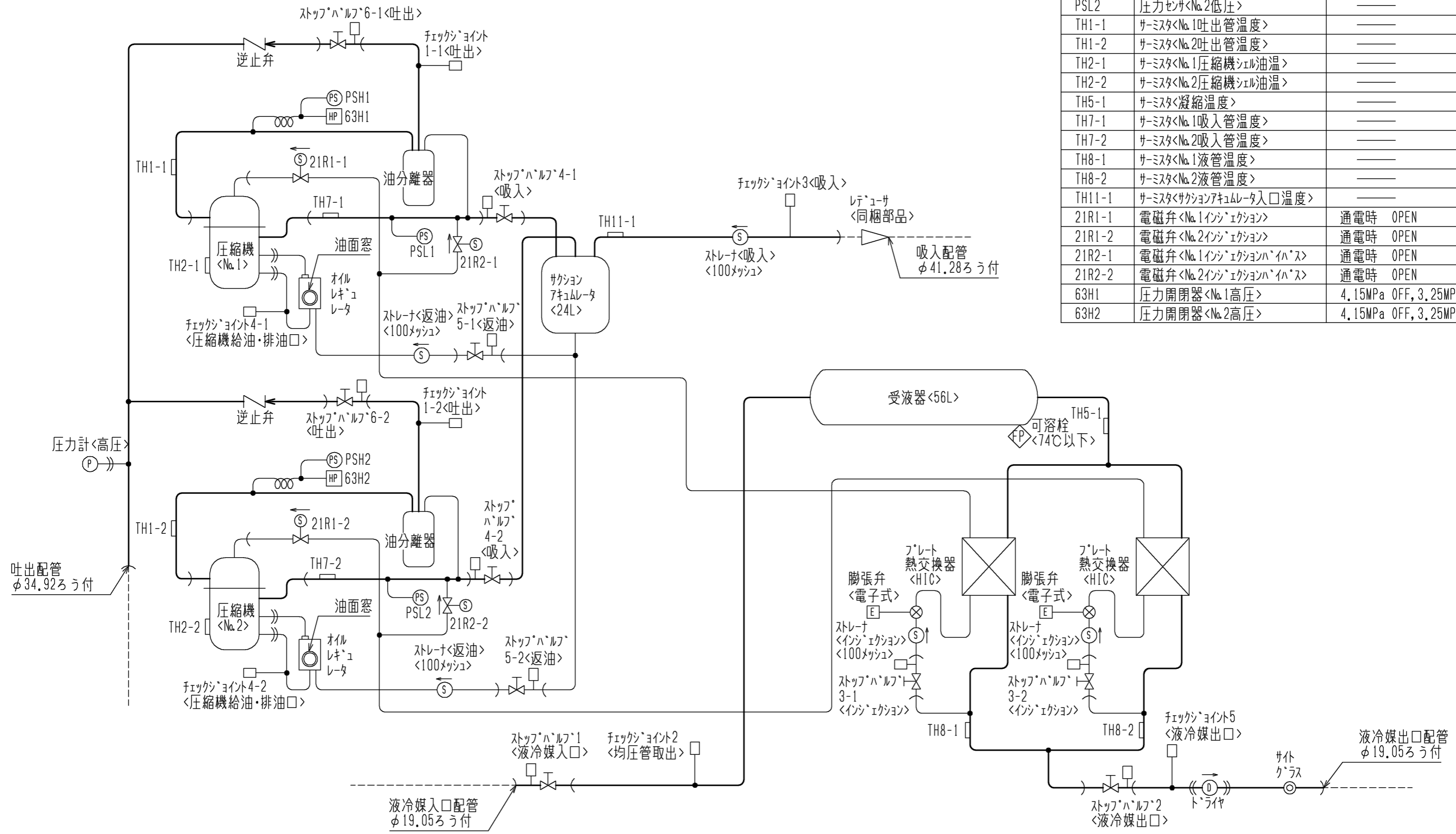
記号説明: リモートコンテナ

C1~6	コネクタ<送風機用電動機>	MF1~6	送風機用電動機	THC	チミスタ<凝縮温度>
FC	電子ファンコントローラ			63H4	圧力開閉器<ファンホッパ>

10. X101~X104, X107, X108, X111~X113はメイン基板の出力接点を示し、動作は下表のとおりです。
- | | |
|------------------------|---|
| X101 | 圧縮機が起動時、運転周波数が30HzになるまではON。左記以外はOFF |
| X103 | 圧縮機が停止時はON、圧縮機が運転時はOFF |
| X102, X104, X107, X108 | 圧縮機が運転時はON、圧縮機が停止時はOFF |
| X111 | ユニットが正常時(運転可能)はON、ユニットが異常時(運転不可)はOFF |
| X112 | ユニットが異常時(運転不可)はON、ユニットが正常時(運転可能)はOFF |
| X113 | フレーム検知時はON、その他OFF、ただし工場出荷時、検知時もOFFのフレームあり。詳細は据付工事説明書を参照のこと。 |



図中記号	機器名称	作動値
PSH1	圧力センサ<No.1高圧>	—
PSH2	圧力センサ<No.2高圧>	—
PSL1	圧力センサ<No.1低圧>	—
PSL2	圧力センサ<No.2低圧>	—
TH1-1	サーミスタ<No.1吐出管温度>	—
TH1-2	サーミスタ<No.2吐出管温度>	—
TH2-1	サーミスタ<No.1圧縮機シエル油温>	—
TH2-2	サーミスタ<No.2圧縮機シエル油温>	—
TH5-1	サーミスタ<凝縮温度>	—
TH7-1	サーミスタ<No.1吸入管温度>	—
TH7-2	サーミスタ<No.2吸入管温度>	—
TH8-1	サーミスタ<No.1液管温度>	—
TH8-2	サーミスタ<No.2液管温度>	—
TH11-1	サーミスタ<サクションアキュムレータ入口温度>	—
21R1-1	電磁弁<No.1インジエクション>	通電時 OPEN
21R1-2	電磁弁<No.2インジエクション>	通電時 OPEN
21R2-1	電磁弁<No.1インジエクションハイス>	通電時 OPEN
21R2-2	電磁弁<No.2インジエクションハイス>	通電時 OPEN
63H1	圧力開閉器<No.1高圧>	4.15MPa OFF, 3.25MPa ON
63H2	圧力開閉器<No.2高圧>	4.15MPa OFF, 3.25MPa ON



本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE
	2021-07-07		リモート空冷式インバータスクロール形 マルチ 圧縮ユニット 冷媒回路図 ECV-D185A
尺度 SCALE DO NOT SCALE	三菱電機株式会社		DWG.NO. W KN94CORE
			REV. * PAGE 1/1

注.製品の仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。